三重支部主催「秋のテクテク会」開催報告　　2026.10.31

天候に恵まれ秋の紅葉には少し早い 10/31（土）13 時に新しく改装なった桑名駅に集合し、東海道４２番宿場町でも有名な三重県桑名市の名所・旧跡を語り部さん（観光案内人）と巡る第 31 回「テクテク会」を開催いたしました。

当地三重県桑名市は現在人口約 13.5 万人で名古屋から約 30 分の距離にあり、江戸時代から徳川四天王と謳われた本田忠勝が初代藩主となり、桑名藩の基盤を作り以後幕末の動乱を戦い抜いた地であり、東海道唯一の海路である「七里の渡し」で結ばれ、また伊勢神宮参拝のスタート地でもあり交通の要衝として東海道第 2 の規模を誇る城下町・宿場町として栄えた場所でありその歴史的名所旧跡を語り部（案内人）と一緒に三重、愛知、岐阜、千葉県支部からの参加者 6 名で 8 ヶ所の見どころを約 3 時間６ｋｍの道のりもあっという間に過ぎた。夕刻からは参加者一同による懇親会では、各自の近況や、所属支部活動の状況、そして学生時代の話題が尽きずアルコールがすすみ疲れを癒してくれました。

また、今回の参加で、桑名は室町時代から鋳物職人の町で最も有名な刀工名の一つである「村正（ﾑﾗﾏｻ）」が拠点を置いた場所であり、春日神社にはその「村正」が波紋も鮮やかな輝きを放って奉納されていたり、神社の大鳥居が青銅製であることを知ったり、語り部さんによる新たな気付き（発見）に驚嘆したところです。　　（記　窪田　健一 46W）

東海道 53 次錦絵「桑名」

夕刻からの懇親会にて(左から)
太田祐司　　阿部桂三
佐野武司
窪田健一　　奥山幸生

「六華苑」にて

山林王と呼ばれた諸戸清六の邸宅として 1913 年（大正 2 年）竣工。
ｲｷﾞﾘｽ人ｼﾞｮｻｲｱ・ｺﾝﾄﾞﾙ設計による 4 層塔屋の洋館。洋式水洗ﾄｲﾚ設置
参加者（左から）
奥山幸生(52E),関口輝夫(48K 修),佐野武司(62W),太田祐司(H9M 修)
阿部桂三(46S 修),語り部（齊藤）,窪田健一(46W)